

運営委員会内の班分け・役員を選出・開催日程についての意見まとめ

1. 班分け

現状課題

- ・ 運営委員会が新年度2回目になるが、進行班（事務班）が決まってない。
- ・ 前年度の役員らのみが、準備負担が集中している。
- ・ 進行司会や会議録を行いながら、議論に参加するのは負担がかかるため、すべての運営委員が公平に参加し意見が言える場づくりを、如何に確保するのか。

提案意見

- ・ 1年目と2年目の委員（運営委員の経験者）を混合
- ・ 抽選
- ・ 活動内容等の共通項のある構成
- ・ 新運営委員から班長、班長等の経験者は副班長

思案

- ・ 一年目（未経験）の委員を5班に分け、経験者を抽選等で分ける。班内活動に支障がでるような偏りがあるならば、話し合いで解決する。
- ・ 班長は一年目の委員、副班長は経験者等で、一年目の方を支えて成り立つ班にしていく。来年度以降も活かせる仕組みづくりが必要。

(参考メモ)

- ・ 一年目の運営委員（未経験）
 - 伊藤（ふぁみ劇）
 - 村井（売布まち協）
 - 小林（シニアマジック）
 - 野村（エルライン）
 - 田中（友の会）
 - 三宅（こまどり）
 - 関戸（第3民児協）

※油井（広域ボラ）、東（個人）は、前年度に別所属で経験者。

2. 役員

現状課題

- ・ 会則に規定されている役員数すら決定できていない。
- ・ 前年度も、未経験者が役員になり、十分に仕事があった。
- ・ 現状のままでは、来年度継続する委員の全員が未経験になるが、来年度の運営のことは如何に考えているのか。

提案意見

- ・ 立候補または推薦
- ・ 誰もができる内容にする必要性
- ・ 経験者を混合

思案

- ・ **決定役員は二年目のみの構成なので、現状不足の役員は一年目から選出。**
- ・ **現状の会計役は二年目2名なので、会計監査を一年目2名は会計とともに経験が引き継げるようにする。**

※会計役の経験者が、二年目は会計監査役等になる方が、来年度以降の仕組みづくり的には最良。

(参考メモ)

- ・ 現決定している役員は、前年度は全員が未経験者。
- ・ 未経験者でも成し得る仕組みづくりしながら進めている。

3. 開催日時

現状課題

- ・ 前回9月会議が、時間延長して3時間過ぎても議案を終わり切れなかった。
- ・ 前年度（コロナ禍の影響もあり）からの、持ち越し議案が多くある。
- ・ 今年度中に、慢性化しているこむ1会の諸問題を解決する（流れが整理）ためには、討議する時会議時間を4時間（1日～半日の会議）または月2回（2時間×2回）

提案意見

- ・ あらかじめ開催日決定なら予定確保できる
- ・ 毎月第○週の○曜日などの規則性（曜日・時間・日程の間隔）
- ・ 平日、土日（休日）、午前中、夜間（それぞれに分散して希望あり）

思案

- ・ 毎月2回の開催にして、日程条件を変えた組み合わせで、年間計画する。
- ・ 会議ごとの開催間隔が短くなることで、持ち越し等の議論の展開が効率的になる。会議ごとの議論時間は長く取る工夫ができ、多くの運営委員の意見が反映されやすくなる。

※期日ある議事の検討が月1回では駆け足し審議になる可能性があったが、次回先送りしても当月審議となり、疑問点等の解消する時間も与えられ、より良い状態での審議ができる。

(参考メモ)

- ・ 平日夜間と土日午前中
第2週水曜日19時～21時と第4週土曜日10時～12時
- ・ オンライン中心と直接集合（オフラインでの対面）
平日夜間はオンライン ZOOM 中心で実施と土曜日はぶらざこむに集合で実施

4. その他

提案意見

- ・ メールングリスト（全員に同時送信メール）で、会議場外で普段から情報共有し、意見交換する仕組みで、会議の議論時間が短縮可能（事前から協議しておく）。
- ・ オンライン ZOOM を併用することで、短時間でも都合がつくタイミングで出席しやすい。
- ・ 備品購入に上限金額を決めて、代表・副代表・会計で決済することで、運営委員会で承認得る議論時間を減らす。
- ・ 性善説を基にして、モラルやマナーという良識があることを前提に、今の仕組みが作られており、運営委員会等の規定されていない事柄（委員になったら会議に出席するものが良識の前提）の抜け穴を探すのは基本姿勢が違う。今、参加しない人への強制力を求める意見が多数あり、規定に定めなければ良識の相違が埋まらない等、必要な事があるなら議論して解決したら良い（必要なものは作れば良い）。

- ・ こむ1会の全会員が納得（同意）できるようにしていくため、運営委員全員で「みんなの合意点」を見つけていく（合議で決める）。
- ・ 「欠席＝全委任する」ことを当然の行いにして良いのか。全会員から委任された選任運営委員が、さらに委任することで、多くの意見を基に合意点を見つけることにつながっているのか。

案 ※「その他」については、案はありませんので、運営委員会で協議検討する。